

警鐘レポート4 気管切開術後早期のチューブ逸脱・迷入による死亡

事例5

< 事例概要 >

- ・ 誤嚥性肺炎、人工呼吸管理中
- ・ 気管切開術翌日、栄養剤投与のため呼吸器回路と気管切開チューブの接続部を持ち、ベッドの頭側を挙上したところ、チューブが引っ張られ、呼吸器の低換気アラームが鳴動。浮いたチューブを押し込み、吸引すると分時換気量が低下。チューブからバグバルブ換気を開始し、頸部から顔面、胸部にかけて皮下気腫を認め、アラーム鳴動から約1時間半後に死亡。
- ・ 死因：換気不全。解剖無、Ai有（気管切開チューブの先端が気管外の軟部組織に迷入）